

あっち

こっち

おみのい情報パック

おみじよ



お寺の行事&動画
オンライン配信サポート

otera 企画 koke 精舎

▶ YouTube や Zoom などを使っでの動画配信をお手伝いします

2023 夏の号
VOL.
I24

おみのり三昧

「髪の毛ありますがな」「ありますよ。何でそんなこと言うんですか?」「ソーセージ、食べてもええの?」「ソーセージ、食べたらあきませんか?」「お坊さんは、お肉やお魚は食べたらいけないでしょ」

「結婚は、されているのですか?」「していますよ」「えー、結婚しているんですか。髪の毛も伸ばして、お肉も食べて、それで、お坊さん? そんなんでもいいんですか? なんか生臭坊主ですね」

この言葉は、きっとお釈迦様の生き方を、モデルにして言っておられるのでしょうか。

お釈迦さまは、王子としてお生まれになりましたが、王位継承者としての立場も、裕福な生活や財産、家族などのすべてを捨てて、「出家」されました。そして、頭を剃り(剃髪) 街中を托鉢して歩き、供養されたものを食され、厳しい修行の結果、おさとりを開かれました。

この「おさとり」とは、ものごとを「ありのまま、にみることのできる「智慧」の眼を開かれたということですよ。私たちは、いつも「自分の都合」によってしか、ものごとを見ることのできないのです。

自分の都合でしか見ていないのですから、少し思い通りになると、もっと、もっとと欲を生み出しますし、少しでも思い通りにならないと、いつでも「誰か、のせいにして、腹を立て、恨みやねたみを作り出しているのです。

智慧の眼を開くために、厳しい日々を送られたお釈迦さまや、お弟子の

生活そのものが、仏法

義本弘導
(大阪・浄行寺住職)

方々のお姿が、「僧侶」のイメージとして固定されてしまっているの、世間一般的には、家や家族を捨て、人里離れたところに住まい、慎ましやかな食時をして、さとりにへの修行に励んでいると思われているのではないのでしょうか。

浄土真宗を開かれた親鸞聖人や、その恩師である法然上人は、山に籠もって学問・修行に励み、自分でさとりを開くことができるのは、ごく限られた人だけであって、これでは大多数の人は、仏にはなる(さとりを開く)ことはできないと教えてくださっています。

家族を持ち、さまざまな仕事に就き多くの人とのかかわりを持つということは、いろいろな悩みや苦しみを生み出します。親鸞聖人は、そういった悩みや苦しみを通して、「決して私をひとりぼっちにはしない」という、阿弥陀如来の大きなお慈悲、ご本願のはたらきに出遇っていかれました。また、家庭生活の中で、苦悩の中でしか生きることのできない「この私」を目当てにはたらいてくださっている阿弥陀如来の大悲を仰ぎ、感謝の中で生涯を生き抜かれたお方なのです。

恵信尼さまとお連れ合いとなられ、お子さま方と一緒に暮らし、さまざまな悩みの中に、この人生を一緒に生きてくださっている阿弥陀如来のおはたらきを慶ばれた親鸞聖人の生き方こそ、浄土真宗における「念仏者」のあべき姿ではないでしょうか。

(『大乘』2008年8月号より抜粋・転載)

夏

のことば

おおいなる

もののちからに

ひかれゆく

わがあしあとの

おぼつかなしや

九條武子

◆お寺の困りごとを解決◆



◆新型コロナウ

イルス感染症が、5月8日から「5類感染症」とされ、長く続いたマスク生活も大きな節目を迎えました。しかし、対面の場において「距離をとる」意識は長く続くでしょう。◆今回ご紹介する「koke精舎」は、そんな時代にマッチした、一般寺院(に限りませんが)の新しい活動をサポートする会社です。実際に継続して実行するのは各自となりますが、や

るために必要なノウハウ・機材などの知識を丁寧にご説明。以下はフェイスブックからの具体的な活動場面です。◆まず、別院等での実績もあってご存知かもしれませんが、法要・法座・法事のインターネット配信のお手伝い。何からしているのかまったく分からない方でも、配信システム導入えおアドバイスし、設定作業を行います。本堂だけでなく、さまざまな施設からの配信を可能にします。(常設の配信システム導入は難しいという場合には、撮影配信機材のレンタル設置、出張オペレーションも有り)◆次に、新たな法座・法話会・行事など、聞法の場を増やす取り組みのお手伝い。これからはお寺に集まるだけでなく、さまざまな場所で浄土真宗の教えにであっていただける機会が求められていきます。そこで、どんな場所でも行事ができるよう企画運営。また、結婚式場などでも、仏前結婚式ができるように企画、コーディネートします。◆また、寺報や案内状などの作成補助・配布代行。寺報・案内状の作成・配布は時間や費用がかかるものです。普段の法務を考えるとなかなかの始められない、また続けていけないこともあります。今はネット印刷も普及して、印刷コスト・利便性のハードルも下がっている中で、最適なやり方をご提案。◆いかがでしょうか？お話を聞いて、ITに強く実行力のある僧侶が、先を見据えた活動をなされていることに頼もしさを感じました。過疎地にあっては、無住寺院・廃寺地区での聞法の機会を増やしたい、との思いももたれています。お寺に人が集まりにくいのは、時代の流れとあきらめずに、前向きに取り組みを始めてみませんか？

ご門徒さんもこういう風にできたらという要望を、所属寺に伝えてみてはどうでしょうか？一般ご家庭の法事・法話会にも対応可能ということですよ。連絡先 kokeshoja@gmail.com ※費用につきましてはお気軽にご相談ください。

★「Otera 企画 koke 精舎」は東広島市八本松・西福寺内のコンサルティング会社(個人経営)。コンピューター・インターネット社会における寺院の新しい取り組みをサポート。

おみじょの本棚

『今、ここに在る身命・続』

(藤田徹文著/探求社刊/1,800円税別)



お釈迦さまの時代のインド人は、学生期(がくしゅうぎ)・家住期(かじゅうぎ)・林住期(りんじゅうぎ)・遊行期(ゆぎょうぎ)の四住期を経て一生を終ることを理想の暮らしとした。四住期は、それぞれに異なる生活法と義務があることを教えるものである。学生期は文字通り「勉学に励む時期」。念仏者の立場でいうなら「如来さまが決めてくださった念仏申す生き方を頂戴する時」。家住期は「家業に従事し、財を蓄え、妻を迎えて家長の義務を果たす時期」。念仏者の場合は「生き方を支えてくださるものに対して喜捨する時」。林住期は「家業を息子に譲って、世俗のわずらわしさを去り、質素な生活の中で修養に努める時期。自分と向き合い、いのちを見つめる時」。遊行期は「一所不住、遍歴してひたすら宗教的な生活を送る時期。教えを伝える時」と定義されている。

本書は、実践運動の前身である基幹運動の本部事務長や伝道院部長・主任講師などの要職を歴任し、伝道・布教の第一線で活躍してきた著者が、48歳(1988年)で本願寺の職を辞して福山の自坊に戻ってからの林住期(49歳～68歳)・遊行期(69歳～)について書かれた後編。

著者は自坊に戻った後、備後教区(広島県東部・岡山県西部)の宗会義員をつとめた。真宗各派本山に出講。数度にわたるインドの仏跡巡拝旅行の引率。中国、韓国、東南アジアの仏跡巡拝など精力的に活動した。著者は全国47都道府県すべてに布教で出かけたことがある。著書も100冊以上。交際範囲が広く大食漢で酒豪となると、健康の問題もかかえることになるが、糖尿病と心臓疾患に上手につきあひながら正法の宣布に精励した。

70歳を前にして体調が思わしくないことが増えて自坊(広島県三原市久井町)で過ごすことが多くなったとき、ご門徒の発案で寺の裏山に高さ12メートルの阿弥陀さまの石像を建てて「アミダの園」として整備するなどの事業も行っている。

著者は、NHKの「宗教の時間」をはじめとするテレビ・ラジオ番組への出演を通して、宗教番組一筋のディレクター金光寿郎氏と交流を深める。このご縁で著者は2019年、78歳のとき「仏教伝道文化賞」を受賞した。受賞理由は、「信心の社会性を提唱し、仏教書を多数執筆して全国を布教するなど、伝道一筋に努めた」。

金光寿郎氏の筆による推薦文は、著者の念仏者・伝道者としての姿を端的に表現している。

「親鸞が『地獄は一定』と述べた如く、私の日々の営みは辿々(たどたど)しく脆い足取りですが、恵まれた信心の智慧は、苦難の意味を転換する新しい視点を開いてくださると藤田師は説かれます。煩惱渦巻く日常生活を、ひたすら念仏を申し、み教えを仰いで、み教えと相談しながら生き抜くのが念仏者であるとお説きになられ、譬えて言えば闇を背負いつつも、光に向かって歩む人生であるとお示しになりました」

おみじよカレンダー

2023 7~9月

スケジュールの内容が、一部変更になる場合があります。電話で確認の上、お出かけください。

7月

1日(土) 真宗学寮広済会法座 (7/1~7/3) 「正信偈法話」東元晃慈師(西区・真宗学寮) [時間] 9:00; 13:30 (1日のみ朝席なし) [会場] 真宗学寮講堂 / 關教部光道会真宗講座 「真宗と文学」大田祐慈師(東京大学大学院修士課程修了) [時間] 14:00 [会場] 光道会館

5日(水) 關教部慈光会月例法座 「照らされて生きる」福岡義朝師(三次市大和町・教専寺) [時間] 14:00 [会場] 光道会館

9日(日) 日曜真宗講座 福永和哉師(安佐北区・西福寺) [時間] 9:00 [会場] 本願寺広島別院本堂

15日(土) 親鸞聖人御命日法要 (7/15~7/16) 宮武大悟師(西区・西念寺) [時間] 15日:13:30/16日:6:30;10:00 [会場] 本願寺広島別院本堂

19日(水) 關教部慈光会月例法座 「立教開宗八百年」桑原浄昭師(呉市・浄円寺) [時間] 14:00 [会場] 光道会館 / 広島青年僧侶春秋会オアシス法話 [時間] 18:30 [会場] SIX ONE

23日(日) 日曜真宗講座 寺西龍珠師(呉市・真光寺) [時間] 9:00 [会場] 本願寺広島別院本堂

8月

1日(火) 豊耳会仏教講座 加納佳世子氏(安来市加納美術館名誉館長) [時間] 13:30 [会場] 本願寺広島別院 / 真宗学寮広済会法座 (8/1~8/3) 「他力の信の特色」中本尚樹師(南区・法現寺) [時間] 9:00; 13:30 (1日のみ朝席なし) [会場] 真宗学寮講堂

2日(水) 關教部慈光会月例法座 「今ここでの救い」伊藤唯見師(筒賀村・順正寺) [時間] 14:00 [会場] 光道会館

5日(土) 原爆忌法要 (8/5~8/6) 桑原浄昭師(呉市・浄円寺) [時間] 5日:13:30/6日:6:30;10:00 [会場] 本願寺広島別院本堂 / 關教部光道会真宗講座 「真宗と文学」大田祐慈師(東京大学大学院修士課程修了) [時間] 14:00 [会場] 光道会館

13日(日) 日曜真宗講座 加藤広慶師(東広島市・教得寺) [時間] 9:00 [会場] 本願寺広島別院本堂

15日(火) 孟蘭盆会 (8/15~8/16) 藤井義英師(庄原市・西教寺) [時間] 15日:13:30/16日:6:30;10:00 [会場] 本願寺広島別院本堂

23日(水) 關教部慈光会

月例法座 「親鸞聖人のご生涯に想う」加藤一英師(豊田郡・浄泉寺) [時間] 14:00 [会場] 光道会館

27日(日) 日曜真宗講座 沼田典生師(東広島市・浄蓮寺) [時間] 9:00 [会場] 本願寺広島別院本堂

9月

1日(金) 真宗学寮広済会法座 (9/1~9/3) 「社会の安定に寄与している浄土真宗」水戸浩文師(三次市・福泉坊) [時間] 9:00; 13:30 (1日のみ朝席なし) [会場] 真宗学寮講堂

2日(土) 關教部光道会真宗講座 「真宗と文学」大田祐慈師(東京大学大学院修士課程修了) [時間] 14:00 [会場] 光道会館

6日(水) 關教部慈光会月例法座 「求めてこそ・捨ててこそ」築田哲雄師(南区・法光寺) [時間] 14:00 [会場] 光道会館

10日(日) 日曜真宗講座 水戸法道師(東広島市・明顕寺) [時間] 9:00 [会場] 本願寺広島別院本堂

15日(金) 親鸞聖人御命日法要 (9/15~9/16) 米田順昭(廿日市市・最禪寺) [時間] 15日:13:30/16日:6:30;10:00 [会場] 本願寺広島別院本堂

19日(火) 広島青年僧侶春秋会オアシス法話 [時間] 18:30 [会場] SIX ONE

20日(水) 關教部慈光会月例法座 「ここに満ちる弥陀のお慈悲」武山晃隆師(山県郡・専正寺) [時間] 14:00 [会場] 光道会館

23日(土) 秋季彼岸会 故選義法師(西区・教安寺) [時間] 10:00;13:30 [会場] 本願寺広島別院本堂

24日(日) 日曜真宗講座 細馬洗記師(呉市・誓光寺) [時間] 9:00 [会場] 本願寺広島別院本堂

※新型コロナウイルスによる感染症の影響により、各行事が中止、または延期になる可能性がありますので各所にお問い合わせください。

本願寺広島別院 082-231-0302
真宗学寮 082-231-2900
關教部 082-233-4640
SIX ONE 広島市中区流川町8-20 流川エイトビル 1f



仏の子
サマースクールの
お知らせ



この「おみじよ」を発行している広陵東組というお寺のグループは、夏休みに仏の子を育てる「サマースクール」を開催しています。小学生が北広島町志路原の浄土寺さんに宿泊し「命の尊さ」「思いやり」「正しい心」を学ぶ集いです。

キャンプファイアー、室内オリンピック、内陣参拝など、楽しい行事がいっぱいです。

新型コロナウイルス感染症の影響で開催を断念していましたが、今年は、7月27日~28日の1泊2日で行う予定です。ご家族やお知り合いのお子様には是非ともご参加をお勧め下さい。詳しくはお手次の寺院にお問い合わせ下さい。

会場あんない

082)231-0302
広島市中区寺町1-19
〒730-0801



本願寺
広島別院

082)233-4640
広島市中区福屋町3-2
福屋町ビル4F
〒730-0852



關教部
光道会館

082)247-1253
広島市西区南観音2-8-15
〒733-0035



真宗学寮



おみじょクイズ

クイズの応募はコチラまで



ハガキに答と、あなたの郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号および本誌の感想、おたよりなどを必ず書き添えてお送り下さい。
宛先：〒730-0811 広島市中区中島町7-2

浄園寺内『おみじょ』読者係

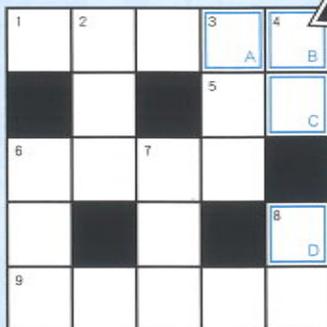
正解者の中から5名の方に記念品を進呈致します。〆切は9月10日(必着)、当選者の発表は次号です。おたよりやQ&Aも、どうぞお寄せ下さい。

なお、お送り頂いたおたよりは、断りなく本誌に掲載することがありますので、ご了承下さい。

記念品
進呈!!!



右のクロスワードパズルを完成させて下さい。A~Dの二重枠に入った文字を並べかえてできる言葉はなに？



● ヨコのカギ ●

1. 一番終わり、〇〇〇〇列陣。
2. 屋根の下端の、建物の外壁より外に張り出している部分。
3. 両方の腕を胸の前で組み合わせることを。
4. サングラスを日本語でいうと……。

● タテのカギ ●

1. 家を抜け出し、どこかに行ってしまうて得ないこと。
2. 湯や茶を飲むのに使う、小ぶりの茶碗。
3. 熱帯などで雨の多くふる季節、この乾季。
4. 遠回りすること。
5. 食通、美食家。
6. ひざから足首までの間で、前の方の部分。

答え



ヒント

……茶葉をいれて茶を抽出するのに使用する容器

前号のクイズの正解

こうみょう

当選者(計) 3名

東区 岩森 久美 南区 三樹 昭子

安佐南区 平原 敦志

編集後記

◆ 今話題の「新しい領解文」について ◆ 個人的には、問題だらけの文章であると思う。とりあえず、「念仏者の努力目標」とでも名称を変更すればいいのに、と思うが、皆に唱和させたいとの(御門主さま以外のどなたかの)強い意向がはたらいているという。全国の僧侶・門信徒からの苦情・推進を待ってくれという要望にも、「正当な手続きを経ているので問題ない、止めることはできない」とのこと ◆ われわれ一般寺院の感覚からすれば異常としか思えない。お寺が何か始めるときに、ご門徒さんにそんな説明で納得いただけるとは思わないでしょう。まったく開かれていない、御門主さまのご本山・それに従うべき一般寺院の社会を作りたいようである ◆ 「新しい領解文」の解説(勸学寮・意)に「行き先が定まれば、その後の生活は当然ながら異なってくる：努力しなくとも、この世の財産や地位、名誉等々に執られる心が離れていきましよう。」とあるが、ギャグかと思う。関係各位が自らの執われの心に早くお気づきになることを願うばかりである ◆ もちろん私は、4月の法要において御影堂で「新しい領解文」を唱和しましたよ。こんな機会、一度しかないかもしれないですからぬ。

(中)